

## 平成22年9月期 第1四半期決算短信

平成22年2月12日

上場会社名 株式会社 梅の花

上場取引所 東

コード番号 7604 URL <http://www.umenohana.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅野 重俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼海外事業部長 (氏名) 上村 正幸

TEL 0942-38-3440

四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年9月期第1四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第1四半期	7,392	△3.7	163	△4.2	154	—	140	35.5
21年9月期第1四半期	7,677	—	170	—	△59	—	103	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第1四半期	2,440.29	—
21年9月期第1四半期	1,801.36	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第1四半期	20,455	3,430	16.7	59,231.36
21年9月期	18,709	3,320	17.7	57,316.93

(参考) 自己資本 22年9月期第1四半期 3,417百万円 21年9月期 3,307百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	—	—	500.00	500.00
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期 (予想)	—	—	—	500.00	500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	14,489	△2.9	362	26.4	236	31.7	173	△40.5	3,003.29
通期	27,703	△2.2	503	110.6	263	—	136	—	2,358.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は4ページ「定性的情報・財務諸表等 4.その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第1四半期	57,700株	21年9月期	57,700株
② 期末自己株式数	22年9月期第1四半期	一株	21年9月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年9月期第1四半期	57,700株	21年9月期第1四半期	57,700株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、景気は持ち直しているものの、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況とされるなか推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは「熱さ、スピード、タイミング」を重視した料理の提供と「心からの笑顔で本当に心からサービスする」ことを心掛けています。

販売強化策として、飲食事業においては11月からの2ヶ月間はしゅうまい、12月から2ヶ月間は、テイクアウト商品の販売コンテストを行い、売上高の強化に取り組みました。

店舗の出退店につきましては、外食店2店舗出店、テイクアウト店3店舗出店、当第1四半期末の店舗数は、232店舗（F. C. 店1店舗含む）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の連結業績は、売上高73億92百万円（前年同期比96.3%）、営業利益1億63百万円（前年同期比95.8%）、経常利益1億54百万円（前年同期は経常損失59百万円）、四半期純利益1億40百万円（前年同期比135.5%）となりました。

なお、事業別セグメントの状況は次のとおりであります。

#### （外食事業）

広告販促手段をテレビコマーシャルに重点を置き、記憶に残る内容で「料亭と居酒屋の中間」という店舗イメージを発信し、気軽にご来店頂けるお店をアピールいたしました。

出店及び退店につきましては、梅の花は、10月に「所沢店（埼玉県）」、12月に「町田店（東京都）」を出店し、69店舗（F. C. 店1店舗含む）となりました。チャイナ梅の花4店舗、かにしげ3店舗、その他店舗は1店舗で、外食事業の店舗数は77店舗、売上高は45億55百万円（前年同期比96.9%）、営業利益3億20百万円（前年同期比72.7%）となりました。

#### （テイクアウト事業）

出店及び退店につきましては、寿司テイクアウト店は、10月に「尼崎阪神店（兵庫県）」、12月に「ららぽーと横浜IY店（神奈川県）」を出店し、134店舗となりました。梅の花テイクアウト店は、16店舗となりました。

その他店舗は、10月に大阪工場に隣接した「工場直売所（大阪府）」を出店し、5店舗となりました。

従いまして、テイクアウト事業の店舗数は155店舗、売上高は28億36百万円（前年同期比95.3%）、営業利益82百万円（前年同期比6,979.7%）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### （1）連結財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ17億45百万円増加し、204億55百万円となりました。これは主に、現金及び預金が9億38百万円、季節要因により売掛金が4億69百万円、新規出店により有形固定資産が2億41百万円が増加したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ16億35百万円増加し、170億25百万円となりました。これは主に、季節要因により買掛金及び未払金が7億44百万円、借入金の総額が10億6百万円増加したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ1億10百万円増加し、34億30百万円となりました。これは主に、四半期純利益1億40百万円の計上によるものであります。

#### （2）キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して、8億87百万円増加し、15億87百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は4億76百万円（前年同期4億76百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1億52百万円の計上、非資金的費用である減価償却費2億59百万円及びのれん償却費28百万円を計上したこと等によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は5億59百万円（前年同期7億18百万円の支出）となりました。

これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出5億6百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は9億70百万円(前年同期8億94百万円の収入)となりました。

これは主に、金融機関からの長期借入れによる収入5億50百万円及び短期借入金の純増額11億30百万円と長期借入金の返済による支出6億73百万円であります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では平成21年11月16日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

適用した簡便な会計処理につきましては、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,944,918	1,006,731
売掛金	1,613,583	1,143,656
商品及び製品	92,369	65,984
原材料及び貯蔵品	165,402	117,980
繰延税金資産	99,126	130,419
その他	543,710	509,870
貸倒引当金	△1,758	△1,958
流動資産合計	4,457,353	2,972,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,170,924	6,775,342
機械装置及び運搬具（純額）	194,147	203,393
土地	4,595,857	4,595,857
建設仮勘定	9,602	122,881
その他（純額）	653,443	685,447
有形固定資産合計	12,623,976	12,382,922
無形固定資産		
のれん	895,566	924,455
その他	69,821	72,111
無形固定資産合計	965,388	996,567
投資その他の資産		
投資有価証券	62,354	63,490
長期貸付金	68,616	68,874
繰延税金資産	392,896	365,052
敷金及び保証金	1,754,250	1,743,050
その他	229,515	215,242
貸倒引当金	△98,896	△98,301
投資その他の資産合計	2,408,738	2,357,409
固定資産合計	15,998,103	15,736,898
資産合計	20,455,456	18,709,583

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末  
(平成21年12月31日)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成21年9月30日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	925,478	518,803
短期借入金	5,240,700	4,110,100
1年内返済予定の長期借入金	2,600,789	2,662,424
未払金	1,372,703	1,034,717
未払法人税等	10,751	24,630
賞与引当金	137,606	220,900
店舗閉鎖損失引当金	366	26,847
ポイント引当金	44,980	40,123
その他	635,021	592,662
流動負債合計	10,968,398	9,231,208
固定負債		
長期借入金	5,394,301	5,456,510
退職給付引当金	114,708	105,618
デリバティブ債務	494,645	538,937
その他	53,286	57,198
固定負債合計	6,056,940	6,158,264
負債合計	17,025,339	15,389,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,434,334	2,434,334
資本剰余金	1,811,323	1,811,323
利益剰余金	△822,556	△934,511
株主資本合計	3,423,101	3,311,146
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△725	766
為替換算調整勘定	△4,725	△4,725
評価・換算差額等合計	△5,451	△3,959
新株予約権	12,467	12,922
純資産合計	3,430,116	3,320,109
負債純資産合計	20,455,456	18,709,583

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	7,677,611	7,392,223
売上原価	2,405,328	2,161,986
売上総利益	5,272,283	5,230,236
販売費及び一般管理費	5,101,612	5,066,772
営業利益	170,670	163,463
営業外収益		
受取利息	5,103	1,612
受取配当金	78	92
受取保険料	311	109
受取手数料	2,557	2,085
デリバティブ評価益	—	31,263
雑収入	19,119	13,579
営業外収益合計	27,170	48,742
営業外費用		
支払利息	50,584	45,509
デリバティブ評価損	192,971	—
雑損失	14,058	11,758
営業外費用合計	257,613	57,267
経常利益又は経常損失(△)	△59,772	154,939
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	476	2,271
新株予約権戻入益	—	455
その他	—	52
特別利益合計	476	2,779
特別損失		
固定資産除売却損	3,245	5,595
投資有価証券評価損	37	—
特別損失合計	3,283	5,595
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△62,580	152,122
法人税、住民税及び事業税	7,109	7,680
法人税等調整額	△173,628	3,637
法人税等合計	△166,519	11,317
四半期純利益	103,938	140,805

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△62,580	152,122
減価償却費	283,040	259,948
のれん償却額	28,889	28,889
賞与引当金の増減額(△は減少)	△54,292	△83,293
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△13,810	△26,481
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24,429	9,089
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,200	394
ポイント引当金の増減額(△は減少)	13,014	4,857
受取利息及び受取配当金	△5,181	△1,705
支払利息	50,584	45,509
固定資産除売却損益(△は益)	3,245	5,595
デリバティブ評価損益(△は益)	192,971	△31,263
売上債権の増減額(△は増加)	△536,279	△469,927
たな卸資産の増減額(△は増加)	△149,658	△73,806
仕入債務の増減額(△は減少)	368,268	406,675
その他	272,070	320,041
小計	417,911	546,648
利息及び配当金の受取額	4,460	793
利息の支払額	△52,115	△45,346
法人税等の支払額	△18,387	△25,109
退店補償金の収入	125,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	476,868	476,984
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△708	△50,553
定期預金の払戻による収入	120,067	—
有形固定資産の取得による支出	△878,108	△506,690
有形固定資産の売却による収入	—	2,000
無形固定資産の取得による支出	△27,268	△1,572
固定資産の除却による支出	△3,245	△3,910
投資有価証券の取得による支出	△394	△599
貸付金の回収による収入	781	402
敷金及び保証金の回収による収入	79,005	31,230
敷金及び保証金の差入による支出	△10,515	△15,779
その他	2,255	△14,424
投資活動によるキャッシュ・フロー	△718,131	△559,897
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,161,808	1,130,600
長期借入れによる収入	700,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△967,099	△673,844
リース債務の返済による支出	—	△1,331
割賦債務の返済による支出	—	△6,005
配当金の支払額	—	△28,872
財務活動によるキャッシュ・フロー	894,709	970,545
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	653,446	887,633
現金及び現金同等物の期首残高	699,312	699,722
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,352,758	1,587,355

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	外食事業 (千円)	テイクアウト 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,699,381	2,978,229	7,677,611	—	7,677,611
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,295,104	61,284	1,356,388	(1,356,388)	—
計	5,994,486	3,039,513	9,034,000	(1,356,388)	7,677,611
営業利益	441,463	1,175	442,638	(271,968)	170,670

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	外食事業 (千円)	テイクアウト 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,555,339	2,836,883	7,392,223	—	7,392,223
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,177,230	14,454	1,191,685	(1,191,685)	—
計	5,732,570	2,851,338	8,583,908	(1,191,685)	7,392,223
営業利益	320,954	82,034	402,988	(239,524)	163,463

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要な事業の内容

(1) 外食事業・・・湯葉と豆腐懐石料理等の飲食店経営及びその付帯事業

(2) テイクアウト事業・・・とうふしゅうまい、湯葉揚げ、寿司等の持ち帰り専門店経営

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「日本」の割合が90%超であるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「日本」の割合が90%超であるため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。